第９回垂水市ふるさと俳句コンクール入賞作品の紹介

◎学校教育課／☎ 32-7213

この俳句コンクールは、俳句づくりを通した、児童生徒の郷土を愛する心情を培い、日本語の美しさや俳句のリズムを理解し、児童生徒の表現力の向上を目的としています。今回は、小学校から高校まで５０３人、６３４句の応募がありました。ここでは、教育長賞３点と、特選８点をご紹介いたします。その他入賞作品については、市ＷＥＢサイトよりご確認ください。

教育長賞 3点

▶川うつる　万華鏡は　秋の山
協和小学校　六年　　瀬戸口　理帆

▶鮮やかに　緑と水が　踊る夏
垂水中央中学校　二年　　西原　千尋

▶せせらぎの　水面を弾む　蝉の歌
垂水高等学校　二年　篠原　真奈

特選 8点

▶稲刈って　おいわいパレード　赤とんぼ
新城小学校　五年　田中　円

▶耳すませ　聞こえるイチョウの　歌声よ
垂水小学校　五年　谷浦　佑直

▶猿ヶ城　光る水滴　岩に垂れ
水之上小学校　六年　神田　孝希

▶冬近し　木々は着物を　ぬいでいく
牛根小学校　　六年　　新屋　璃央

▶猿ヶ城　川底に届く　蝉の声
垂水中央中学校　三年　有馬　朋花

▶畦道を　まねかれ帰る　稲の穂に
垂水中央中学校　三年　永田　笑

▶虫の音に　踊るすすきの　良夜かな
垂水高等学校　二年　松元　勇樹

▶天に向け　我も我もと　咲く陽花
垂水高等学校　三年　吉田　直弥

■教育長賞選評（抜粋）

①瀬戸口理帆さんの作品

色とりどりの秋の山の木々が、川に映り映えているのを見ると、まるで万華鏡を覗いているような美しい情景です。川を万華鏡と見た観察眼が、優れた俳句にしました。

②西原千尋さんの作品

生命のあふれる夏という季節を、「緑と水が踊る」と擬人化して表現したところが、うまくいきました。緑と水を生命力の象徴とした着眼もいいですね。

③篠原真奈さんの作品

蝉の声が、小川の水面を弾みながら聞こえてくるという印象的な俳句です。俳句は、短詩形なので一語で印象が変わりますが、「弾む」という表現が素晴らしいですね。

すべての入賞作品と講評は垂水市公式WEBサイトからご確認ください。

広告　ここは有料広告のページです。申込先：垂水中央印刷（垂水市指定有料広告代理店）☎ 0994-32-0315 ／ 1 枠：横 88mm ×縦 113mm：19,000 円～